

緊急連絡キーホルダー作成による外出時の見守りの充実について

緊急連絡キーホルダー作成による外出時の見守りの充実について下記のとおり報告する。

記

1 事業の目的

概ね70歳以上の方を対象に、自宅における緊急時に速やかな対応を行うため、緊急連絡先やかかりつけの病院等を記載した「緊急連絡カード」の作成を進めてきた。

緊急連絡カードは自宅に保管されているため、これまで外出時の救急搬送や認知症による徘徊で保護された時などに情報を活用することができなかった。

そうしたことから、高齢者の外出時の緊急措置にも対応するため、希望する高齢者に対して緊急連絡カード情報に紐づけた緊急連絡キーホルダーを作成する。

(※緊急連絡カードと緊急連絡キーホルダーの関係図は、別添資料参照)

2 事業の概要

(1) 緊急連絡カード作成時(既に作成している方は、登録情報確認後)に、カード情報に紐づけたキーホルダーを作成する。

(2) キーホルダーには個人を識別する番号と警察署(110)、消防署(119)の電話番号を記載する。

(3) キーホルダーを携帯した区民について通報を受けた警察署、消防署は現場を確認後キーホルダーの識別番号を区へ連絡する。区は識別番号を要支援者情報台帳システムで緊急連絡カード情報を確認して警察署、消防署に連絡することで、本人確認を行う。

3 対象者

概ね70歳以上の高齢者

4 申請受付

(1) 申請開始日 令和6年1月15日から

(2) 申請窓口 地域活動推進課、区民活動センター、地域包括支援センター

5 今後の予定

令和5年12月 関係機関・団体への説明

令和6年1月 区報、ホームページ等により周知

1月 キーホルダー作成申請受付開始

緊急連絡カードと緊急連絡キーホルダーの関係図

緊急連絡カード

①登録内容

氏名／生年月日／性別／住所／電話番号／世帯人数／緊急連絡先（氏名、続柄、住所、電話番号）／かかりつけ医（施設名、病名、所在地、電話番号）／ケアマネージャー／その他特記事項／担当地区民生委員（氏名、電話）／地域包括支援センター名

②保管方法

緊急連絡カードを専用ボトルに入れ、自宅の冷蔵庫の中などに保管。

③緊急時の対応

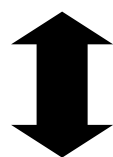
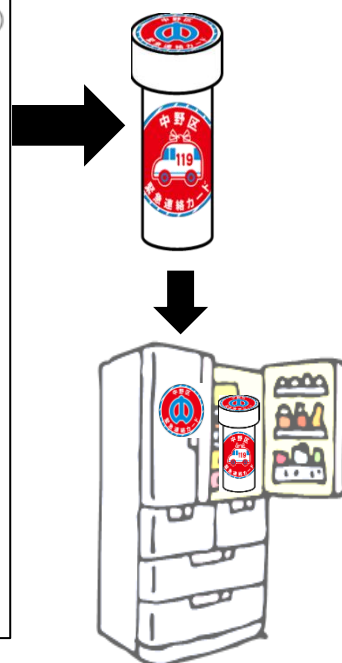
自宅での緊急時、かけつけた消防・警察がカード情報を確認し、迅速な人命救助等につなげる。

<緊急連絡カード>

フリガナ		氏名		生年月日	明大昭	年	月	日	性別	男	女
住所		中野区	丁目	番	号	電話	人世帯				
緊急連絡先	氏名	続柄	住所	電話							
かかりつけの病院等	病院名・診療科目	病名	所在地	電話							
指定居宅介護支援事業者 (ケアマネージャー)											
その他特記事項											
担当地区民生委員	氏名	電話	地域包括支援センター 南中野・本町・東中野・中野 中野北・江古田・鷺宮・上鷺宮								

このカードの内容は、区の電算組織に記録します。また、災害時には、警察・消防に提供します。

<専用ボトル>



カード情報を 番号で紐づける

緊急連絡キーホルダー

①形状

個人を識別する番号が入ったキーホルダー

<表面>



<裏面>



②緊急時の対応

外出中の緊急時、かけつけた消防・警察がキーホルダー番号を区に問合せ、緊急連絡カードの内容を確認し、迅速な人命救助及び身元確認等につなげる。